フウフヤメマスカ?の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	フウフヤメマスカ?の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	フウフヤメマスカ?を読んだことのある20代～50代の男女94名
調査期間	2025年4月10日～2025年4月14日 2025年5月1日～2025年5月2日 2025年5月9日 2025年5月16日 2025年5月23日 2025年5月30日 2025年6月6日 2025年6月13日 2025年6月20日 2025年7月4日 2025年7月11日 2025年7月18日 2025年7月25日 2025年8月8日 2025年8月15日 2025年8月22日 2025年8月29日 2025年9月5日 2025年9月12日 2025年9月20日 2025年9月26日 2025年10月3日 2025年10月10日 2025年10月17日 2025年10月24日 2025年10月31日 2025年11月7日 2025年11月14日 2025年11月21日 2025年11月29日 2025年12月5日 2025年12月12日 2025年12月19日 2026年1月2日 2026年1月9日 2026年1月17日 2026年1月23日 2026年2月1日 2026年2月6日

	2026年2月13日 2026年2月20日 2026年2月27日 2026年3月6日 2026年3月13日 2026年3月20日 2026年3月27日 2026年4月3日 2026年4月10日 2026年4月17日 2026年4月24日 2026年5月1日 2026年5月8日 2026年5月15日 2026年5月22日 2026年5月29日 2026年6月5日 2026年6月12日 2026年6月19日 2026年6月26日 2026年7月3日 2026年7月10日 2026年7月17日 2026年7月24日 2026年7月31日 2026年8月7日 2026年8月14日 2026年8月21日 2026年8月28日 2026年9月4日 2026年9月11日 2026年9月18日 2026年9月25日 2026年10月2日 2026年10月9日 2026年10月16日 2026年10月23日 2026年10月30日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/huhuyamemasuka/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：フウフヤメマスカ?を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1:年代と性別を教えて下さい。

20代男性	2人
30代女性	5人
30代男性	7人
40代男性	11人
40代女性	4人
50代男性	65人

Q2:フウフヤメマスカ?の感想を教えて下さい。

フウフヤメマスカ?の1話～5話感想

冒頭から詩織の心情が痛いほど伝わりましたね。子供が欲しいという気持ちがあるのに旦那がなかなかその気になってくれないというもどかしい感じを丁寧に描写をしてくれていたので凄く興味が湧きました。やはり子供を作るとなるとタイムリミットということが大きく関わってきますから詩織の焦りもすごくわかります。旦那の賢吾がその気持ちを全く理解していない感じにモヤモヤしますね。もっと妻の気持ちに寄り添ってあげて欲しいです。
自分の子どもが欲しくて、現在の夫との関係に不安や焦りを感じている詩織か、異性としてのときめきを感じない上、気乗りしない子作りを迫ってくる妻との生活に息苦しさを感じ、大好きだった元カノに心惹かれてしまう賢吾か、どちらに感情移入するかによって受ける印象が大きく変わるお話だと思いました。「沙耶の思惑」というワードから察するに、単なる夫婦のすれ違いでは済まない展開が待っていそうなので、２人がどうなってしまうのか続きが気になります。
今からという時に、本当に子どもが必要なのかと言われるってすごく辛いですよね。なんでこのタイミングなの一！と思わずこっちも悔しくなってしまうほど。でも、妊活に焦りすぎている詩織の必死さが、ちょっと重くも感じてしまいました。賢吾も賢吾で、詩織の過去の態度で男としての自信を失っている気持ちもわかります。男性って案外繊細だよなぁと改めて感じました。

フウフヤメマスカ?の6話～10話感想

詩織と賢吾が喧嘩をしてから、会社で顔を合わせたときの気まずさの描写がとてもリアルで、読んでるだけでも冷や汗をかきそうでした。さらになぜ賢吾が詩織のことを女性として見れなくなったのかという原因も判明したのですが、正直賢吾のワガママではないかと思いました。そんな危機的状況の中で沙耶からの誘惑もあり、賢吾がどう対応するのか注目したくなるストーリーでした。
賢吾の心情がとても気になる内容になっていますね。賢吾を誘惑してくる沙耶の存在に作中、深く悩まされている感じなので賢吾がどのような選択を取るのか本当に興味深いです。何故か賢吾が沙耶に対して、心をときめかせている姿などもあり非常に面白いですね。やはり久しぶりに会ったので元カノが可愛く見えていることは明白ですね。賢吾の行動を見れば見るほど詩織がちょっと可哀想になってきます。
ぎくしゃくする詩織と賢吾。それでも一緒の電車に乗って一緒の職場に向かわなければならない。それってかなり苦痛ですよね。賢吾としても詩織に対して情が無いわけではなさそう。でもそれは恋する相手としての情ではないみたいなのです。そんな中で出てくるのが元カノ沙耶の存在です。すっかり清楚系となっていた元カノってポイント高いですよね。もう一度恋してしまうというか、しっかり賢吾も見とれてしまっていて、賢吾と対照的に一人でビールを飲んでいる詩織の姿はかわいそうすぎる。

フウフヤメマスカ?の11話～15話感想

沙耶が賢吾を奪うためにいろんなことを企んでいることがわかり、かなり恐ろしくなりました。下手なホラー作品よりゾクッ

とします。賢吾も押しに弱いところがあるので、もうちょっと自分を強く保ってほしいと思いつつ、沙耶の罠に引っ掛かる様子にワクワクしてしまう自分もいました。常に一歩先を行っている沙耶が、次はどんなことを仕掛けてくるのか思わず期待が高まります。

やはり沙耶の存在感がこの作品の面白さの一つですね。賢吾と一緒になりたいという気持ちが見え見えで詩織の気持ちになると本当に辛くなってきます。賢吾の言動にも問題はありますが一番悪いのは間違いなく沙耶ですね。彼女がいなければこんなにも詩織が悩むこともなかったと思うので俄然目が離せませんね。作品内のキャラのセリフにもすごくセンスがあるので面白いです。

だんだんと秘密が明らかになっていく展開でインパクトの強いセリフも様々にあったので、読んでいるこちらまで刺激を貰えたような気分になりました。また、今後2人の関係がどうなってしまうのか先の展開も全く分からなかったので、いい意味で想像すらも出来なくて夢中になりながら一気読みしてしまいましたし、緊張感もあり時間を忘れて没頭しました。

フウフヤメマスカ?の16話～20話感想

作中で見せる賢吾の元カノ沙耶のあざとい仕草が本当に面白いですね。あんなこと躊躇なくやってしまう沙耶のメンタルが本当にすごいと感じました。賢吾もそんな沙耶の言動に対してまんざらでもない顔を浮かべていたので、そこも面白いところでしたね。賢吾と沙耶のやりとりにはなんだか独特の空気感を孕んでいて非常に興味深いです。不倫という背徳感がそうさせているのでしょうか。

新入社員として佐久野というキャラがいるのですが、この存在が詩織を作中困惑させていくのでその場面は必見ですね。とにかく仕事で問題ばかり起こしていくので詩織がその都度あたふたしている姿がとても面白いです。なんとなく手のかかる子供とその親にも見えてくるので笑えます。でも新入社員ですから、ある程度できないのはしょうがないのかなとも思いましたね。

いい意味で関係性が変わりそうな展開で、読んでいるこちらまで感情移入をして痛い程に心情が伝わってきましたし、今までにはない一面を見る事も出来たのでインパクトを受けました。また、関係性が変わっていった分更にどうなってしまうのかワクワクしながら一気読みしてしまいましたし、それでもまだまだ続きが気になるのでラストが全く分からない流れが大変面白いです。

フウフヤメマスカ?の21話～24話感想

新入社員佐久野と詩織の関係性がどんどん気になってきます。完全に佐久野が詩織に好意を寄せている感じが丸わかりなので、その点がすごく面白いです。個人的に賢吾よりも佐久野の方が魅力的に見えるので早く詩織はこっちに乗り換えて欲しいです。作中、詩織が結婚していると知らなかった佐久野の姿も非常に面白かったですね。なんだか放って置けない魅力が佐久野にはありますね。

賢吾がヤキモチをやく場面があるのですが正直納得できなかったですね。今まで詩織を蔑ろにしてきたくせに佐久野の存在を知ったら途端に詩織のことが惜しくなった感じ丸わかりでしたね。説教めいたことを作中していましたが詩織が怒られる筋合いはありません。それどころか賢吾が反省するべきなのになんなんだという感じで俄然目が離せませんでした。

差し入れを渡すために2時間待ち。普通の相手だととてもできる行為ではありません。それともそれが佐久間という男なのか。新人類だからこその不可思議なのでしょうか。詩織と居酒屋に行く彼のうれしそうな笑顔はそれ以上の気持ちを持っているとしか思えませんね。彼の真意がどうあれ、それに反応してしまっている賢吾の様子も気になるところです。

フウフヤメマスカ?の25話～27話感想

とにかく賢吾の言動が気になって仕方がありません。詩織に対して執着している感じで監視しているのが面白いですね。今まで元カノである沙耶と仲良くしていたクセにライバル的な存在佐久野が現れた途端に詩織に気持ちが向かってしまう賢吾の姿がなんだか面白いです。でも一方でかなり人間らしいとも言えますね。誰でも自分のものが他の誰かに奪われそうになったら惜しくなりますからね。

25巻は佐久野が詩織に対しての好きだと言う想いが出ていてとても良かった。
佐久野、詩織、風間の3人で話すシーンがあり
風間に嫉妬する佐久野が描かれており、明らかに詩織が好きなんでしょう。
風間に対する佐久野のネチネチした嫉妬心は見ていてとても共感できました。
好きな人が他の異性と話すと妬いていまうのは青春ですね。

サッサと詩織を捨てて沙耶に乗り換えようとするほど外道でもなく、だけど沙耶の誘いには迷いながらもわりとアッサリ乗ってしまう賢吾の態度に苛立ちと頼りなさを感じました。沙耶は賢吾に父親役をさせようと目論んでいますが、うまく再婚できたとしても賢吾が良い継父になろうと前向きに努力するとは思えず、本当に彼がターゲットで良いのかと沙耶に問いたくなってしまいました。

本当にこの作品は曲者揃いでめちゃくちゃ面白いですね。詩織と賢吾と深く関係していく佐久野と沙耶の存在から目が離せません。作中、沙耶の思わせぶりな言動のせいで賢吾が良からぬ方向へと誘導されていくのがとにかく面白いですね。夫婦関係はうまくはいっていませんでしたが詩織と賢吾には別れてほしくないという気持ちが何故だかとても高まります。

フウフヤメマスカ?の28話感想

賢吾はクズですが、どんどん状況的に追い詰められてしめしめという気分でした。一方で詩織は佐久間の頑張っているかわいい姿や笑顔にドキッとしているところが面白かったです。あんなにいい笑顔、なかなかできませんよ。爽やかすぎです。

フウフヤメマスカ?の29話感想

健吾は沙耶の掌の上だなって感じました。このあたりは子育てという苦労をしてきた沙耶と人生経験の差が出ているのかなと。蓮を使ってお願いするところは見事でした。健吾と詩織の夫婦仲は上手くいかないものだと悲しくなりました。健吾が素直に謝ったことで、夫婦仲が改善しそうに感じたんですよね。それだけに、最後の一言で夫婦仲がまた微妙になってしまったのは残念です。

フウフヤメマスカ?の30話感想

想定外の展開に驚きました。健吾は母性本能という言葉から否定的な感情が生まれていたように感じますし、どちらかといえば揉めそうだと思ったんですよね。ところが蓋を開けてみればレス解消。これが夫婦というものなのかとビックリしました。ただ気になる点もありました。レス解消出来たのは良いことだと思いますけど、その割に詩織のテンションが低いんですよね。今回のレス解消が改めて子作りを見直すきっかけになってしまったとでもいいましょうか。このまま上手く行ってくれればいいですけど、そうはならなそうだなと不安に感じました。

フウフヤメマスカ?の31話感想

まだまだ前途多難な二人だと感じました。夜の関係を持てたとはいえ、二人の気持ちはバラバラのまま。これだと次はいつになるかわかりません。このままだと愛情があるから相手を求めるのではなく、義理でするという関係になってしまいそうで怖いです。気になったのは佐久野です。
佐久野なりに詩織の様子に違和感を覚えたのでしょう。フォローの仕方次第で詩織の気持ちに変化が生まれそうですし、今後の展開が気になりました。

フウフヤメマスカ?の32話感想

健吾の子供っぽさが目立ったように感じました。
パスタの食べ方や愚痴り方に見っともなさを覚えましたし、何よりアリバイ工作が稚拙過ぎます。
詩織が鬼束に確認を取ればすぐわかることですし、頼りなさを覚えました。

今回意外だったのは佐久野が山本のマッチングアプリ談に不満を漏らしたことです。

山本への陰口になっていたのもそうですが、ここまでハッキリ不満を漏らす程気に入らなかったんだと驚きました。

フウフヤメマスカ?の33話感想

今回は佐久野の怒った理由がわかってスッキリしました。
山本の会話が不適切だったとは思います。
でもそこまで怒る程のものかと違和感を覚えていました。
それだけに佐久野の怒った理由がわかってスッキリ。
しかも佐久野は自分ではなく、詩織の為を想って憤っていたのですから驚きです。
詩織ファーストで考えるようになっているあたり、佐久野にとって詩織の存在は大きくなっているんだと感じてホッコリしました。

フウフヤメマスカ?の34話感想

34話は、健吾にとって、分水嶺的なものになりそうだと感じました。これまで沙耶は健吾にとって火遊びの相手程度という認識だったと思います。大人の関係を楽しめればいいだけであり、沙耶の子供まで背負い込む気持ちは毛頭なかったでしょう。しかし健吾は蓮のことを気に入ってしまいました。これによって健吾は詩織と別れ、沙耶との再婚まで視野に入れる可能性が出てきたように思います。沙耶としても、蓮との相性が良いなら健吾を父親にと考えても不思議ではありません。今回の密会が今後どのような影響を与えていくのか楽しみです。

フウフヤメマスカ?の36話感想

一言でいうなら賢吾乙。不倫を試みるも、何一つ為さないまま終わってしまったなと哀れに感じました。鬼束は可哀そうでした。同じ男として賢吾を庇いたかった気持ちはわかります。でもそれはやってはいけないことでした。肝心の賢吾がその場にいないのですから、嘘をついたところですぐバレてしまうのは必定。結果詩織からは共犯者のような目で見られますし、板挟みになっている姿が可哀そうでした。

フウフヤメマスカ?の37話感想

賢吾に情けなさを覚えました。母親に言い訳をしている小学生男子のようだったとでもいいましょうか。そんな状態で言い訳をしても詩織に通じるはずありませんし、もうちょっと上手く言い訳出来ないものかと呆れました。気になったのは、今更賢吾が真実を話したところで詩織が信じてくれるのかという点です。ここまで来たら真実を話すしかないと思うのですが、話したところで逆に怪しさが増すばかり。絶体絶命の危機をどう乗り越えていくのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の38話感想

賢吾は事の重大さをわかっていないように感じました。賢吾は元カノである沙耶と肉体関係を持っていません。ですので不倫じゃないのは事実です。だから賢吾はすべて白状すれば許してもらえると思ったのでしょうけど、これが甘すぎるって感じました。元カノと会うために嘘をついたことで、賢吾は信用を著しく落としています。だから詩織は賢吾をこのまま許していいものかと悩んでいるわけで。賢吾は事の重大性を理解せず呑気に構えていますけど、これでいいのかなって感じました。

フウフヤメマスカ?の39話感想

詩織の気持ちが痛い程わかりました。不倫ではないにせよ、嘘をついてまで元カノと会っていたのはショックだと思います。今後も夫婦関係を続けるなら許すしかないとしても、受け入れられないのには共感出来ました。悩んだ末に詩織は賢吾から沙耶へ電話させることを選んだわけですが、これは英断だったと思います。もし沙耶との関係をなぁなぁにしてしまったら、賢吾は下心を出してまた妙な動きをする可能性もあったわけですし。紆余曲折ありましたけど、これで詩織の気持ちがスッキリしてくれることを願います。

フウフヤメマスカ?の41話感想

蓮司の登場に驚きです。沙耶と蓮司の密会シーンは短いものでしたが、内容が濃すぎました。おかげで色々と妄想が捗ってしまいましたね。違和感を覚えたのはその名前。名前的に蓮って蓮司との間に出来た子供っぽいんですよね。そしてその口ぶりから、蓮を賢吾に押し付けようとした可能性まであります。これを面白い体験だったの一言で済ませるのはどうなのかとも感じました。

フウフヤメマスカ?の42話感想

賢吾の取った行動が悪手過ぎて目を覆いたくなりました。蓮の事が気になる気持ちはわかります。でも不倫疑惑がある今の状態で、詩織に内緒で沙耶のマンションへ行くのは早計過ぎました。蓮の事が気になるにせよ、他の手立てがあったんじゃないかなって思います。気になったのは佐久野の行動です。詩織は仕事に関する相談かと思っているようですが、恐らく違うでしょう。佐久野の齎す情報が詩織達にどんな影響を与えるのか楽しみです。

フウフヤメマスカ?の43話感想

賢吾が甘すぎますね。沙耶からご自宅へ招待されても、断固として断るべきだったと思います。パンフレットを渡せばいいだけなのですから、それは十分可能だったでしょう。しかし断れずに沙耶宅で食事をご馳走になってしまうとか、どうしようもない男だなって感じました。一方詩織の方も不味いです。賢吾の言葉を信じて納得したわけですけど、実際不倫していたかどうかは疑わしい状況。そこへ佐久野から賢吾が不倫していると言われたわけですから。ここからどのように拗れていくのかと先の展開が気になりました。

フウフヤメマスカ?の44話感想

賢吾は本当に情けないですね。いくらなんでも手玉に取られ過ぎといいましょうか。沙耶が弱い部分をみせれば、それで即落ち。耐性無さすぎるでしょう。逆に沙耶は大したものです。今は賢吾に好意を持っていないとはいえ、昔は愛し合った仲。なのに賢吾の家庭を壊すことを平気でしてしまうんですから。人って変わるものなんだな～と痛感しました。

フウフヤメマスカ?の45話感想

賢吾がただただ情けないです。沙耶と別れてから、賢吾は精神的に成長していないのでしょう。
あまりにも手玉に取られ過ぎ。賢吾にとって誰が一番大事なのか、しっかり考えて欲しいです。佐久野の方も微妙でした。まさか仕事を休んでしまうとは。休んだ原因は昨日の話し合いとは思いたくはないですし、何が原因なのか知りたくなりました。

フウフヤメマスカ?の46話感想

詩織は言い過ぎたかもしれませんが、その気持ちも理解できます。いつまでも学生のような気持ちで仕事をしていることに対して怒りたくなるのも無理はないと感じました。一方で気になるのは佐久野のことです。佐久野は昨夜の出来事で仕事を休むほどメンタルが脆弱。そんな佐久野に対して詩織は厳しく叱ってしまったのです。今以上に悩むのは必至ですし、本当に退職代行を利用してしまうのではないかと心配になりました。

フウフヤメマスカ?の47話感想

佐久野がヤバ過ぎました。詩織が強く言い過ぎたとは思いますけど、だからといってこの対応はないですね。扱いが非常に難しい人間だなって感じました。気掛かりなのは詩織が上司から佐久野の様子を見に行くよう言われたことです。詩織は電話で怒鳴りつけてしまいました。周囲からすれば、佐久野が凹んでいる原因は詩織とも取れるでしょう。パワハラ等で詩織が処分される可能性もあり、今後の展開が気になりました。

フウフヤメマスカ?の48話感想

佐久野の真意にびっくりです。これまでの経緯から、詩織が原因だろうなとは想像していました。しかし詩織に嫌われたから退職を考えたというのは想定外。100歩譲って恋人同士とかならわからないでもありません。詩織は既婚者であり、佐久野と恋愛しているといったこともないわけで。ここまで行くと、不快感を覚えました。気になったのは、詩織がどのよ うに対応するか。流石に退職理由がこんなくだらないことだとは思ってもみなかったでしょう。佐久野にどんな言葉を投げかけるのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の49話感想

佐久野はどうしようもない男だと感じながらも、ほっとしました。ここまで醜態をさらした佐久野に対して、詩織が恋心を抱くことはないだろうと思ったからです。駄々っ子の子守りは大変でしょうけど、頑張って欲しいです。気掛かりなのは賢吾です。上司からの情報はかなり怪しいものでしたし、肝心の詩織は電話に出てくれません。もしかして不倫の真っ最中かと疑っても仕方ないと言えます。かなりまずい展開になりそうで、ハラハラしました。

フウフヤメマスカ?の50話感想

佐久野には呆れました。詩織がインターホンに出ようとしたら、まさかこういう引き留めをしてくるとは。お前は小学生かとツッコミを入れたくなりました。本当に情けないですね。気になったのは賢吾と沙耶の不倫問題です。詩織は賢吾の言葉を信じ、沙耶とは何もなかったと思い込むようにしていました。しかし佐久野の言葉はそれを否定するもの。賢吾は沙耶に会ったことを秘密にしていただけに、これまで以上に荒れそうだなって感じました。

フウフヤメマスカ?の51話感想

詩織の対応が見事過ぎました。正直ここまで言ってくれる妻なんて、そうはいません。賢吾は沙耶に流されることなく、詩織のことをもっと見てあげて欲しいです。気掛かりなのは佐久野です。詩織達に見せた画像よりも際どいものを持っていました。あの場では黙っていましたけど、佐久野が納得しているとは考えづらいでしょう。今後どのような行動を起こすのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の52話感想

詩織も大変だなって改めて感じました。夢の内容からしても、詩織の中では健吾と沙耶の関係に整理がついていないことがわかります。にも拘わらず、健吾は能天気な様子。こういう楽天的なところに惹かれたんでしょうけど、こんな夫を持って詩織も大変だと思います。気になったのは佐久野が出社してきたことです。これ自体はいいと思うのですが、問題は詩織と健吾では佐久野に対する印象がほぼ真逆ということ。これが原因で夫婦間に亀裂が入らないかと不安に感じました。

フウフヤメマスカ?の53話感想

詩織には悪いと思いますが、笑ってしまいました。佐久野が出社して、やっと落ち着いたかと思ったらコレです。苦労する星のもとに生まれてきたんだなとおかしくなりました。気がかりなのは賢吾です。沙耶が会いたいというだけなら、賢吾は即座に断っていたでしょう。賢吾がどのような判断を下すのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の54話感想

あの山本が妊娠していることに驚きました。しかも誰の子供かわからないというのです。遊んでそうな女性ならともかく、真面目そうな山本の告白だけにそのインパクトは強烈でした。人間、裏で何しているか本当にわからないですね。一方、賢吾の方も気になりました。沙耶の母親にバレたことで、話が大きくなってしまうのではと。賢吾がどのように対応するのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の55話感想

賢吾しっかりしてくれよって言いたくなりました。そもそも沙耶の家まで行ってる時点でダメなんですけどね。これは決定的といえるでしょう。前回のことで全く反省していないというか、懲りていないなって呆れました。子供に関しては、賢吾と詩織でひと悶着ありそうです。賢吾は子供を可愛いと言い出しましたが、それには蓮との繋がりがあるわけで。のんきにビール飲んでいる場合ではないとツッコミたくなりました。

フウフヤメマスカ?の56話感想

いくらなんでも賢吾が無神経すぎました。妊活に関しても、意識が相当低いですね。沙耶や蓮に関してのこともそうですけど、賢吾にもう少し常識というか、自分の行動を客観視出来る能力があればなと残念に感じました。気がかりなのは詩織です。今回の一件で、我慢の限界を超えてしまったのではないでしょうか。一気に離婚問題にまで発展しそうで怖いです。

フウフヤメマスカ?の57話感想

佐久野を見直しました。夫である賢吾ですら、不機嫌になった詩織はどうしようもなかったのです。にもかかわらず、佐久野はなんとかしてしまったのですから。もしかするとこの二人って、意外と相性がいいのではと感じてしまう程でした。気がかりなのは賢吾です。確かに詩織は賢吾に対して、普通に対応しました。でもこれって、詩織が賢吾を許したわけではありません。賢吾は勘違いしてしまいそうで、不安です。

フウフヤメマスカ?の58話感想

やっぱりかって感じでした。賢吾は詩織の機嫌が直ったかのように思ってましたけど、そんなことないんですよね。職場だから、表面上普通にしていただけで。詩織との関係修復は相当大変だなって感じました。気がかりなのは佐久野です。佐久野なりに詩織と賢吾の間に何かを感じたから、このようについてきているのでしょう。一体何をするつもりなのか、注目したいです。

フウフヤメマスカ?の59話感想

詩織と賢吾の関係に笑ってしまいました。詩織としては、賢吾と口も聞きたくないわけです。しかし、この状況だとそうは言ってられません。計らずとも、夫婦揃って場を和ませようとする姿が面白かったです。佐久野の言葉は印象に残りました。詩織と賢吾は相槌を打つだけしかできませんでしたけど、これは責められません。恐らく、殆どの人は同じような対応しか出来なかったと思いますから。それだけに、佐久野の空気の読めなさが痛快でした。

フウフヤメマスカ?の60話感想

賢吾が情けないですね。なんでも詩織にしてもらっている感じがして。日帰り温泉の件で、そのことを強く実感しました。賢吾はいつも提案するだけなんでしょう。雑事はすべて詩織にぶん投げてきたように思います。ここから改善していって欲しいですね。気になるのは佐久野です。山本の言葉により、詩織が困っている可能性に気づきました。それを踏まえて、佐久野が今後詩織にどのように接するのか注目したいと思います。

フウフヤメマスカ?の62話感想

詩織と賢吾の関係が良くなったようで安心しました。することをしないと妊娠は絶対できないので、一歩前進したことにほっとしています。山本の変わりようは本当に驚きました。母は強しという言葉がありますけど、それを体現しているかのよう。まだ不安な点はありますが、今の山本なら乗り越えられそうな気がします。心配なのは沙耶です。母親から次の男性は独身の方がいいのではと言われても、反発するばかり。まだ賢吾に頼る気なのではと、今後の行動が気になりました。

フウフヤメマスカ?の63話感想

詩織の変わりようには驚かされました。予想以上にご機嫌が良くなっていたといいましょうか。そのせいか、賢吾を見る目も優しくなっていたように感じます。普段の詩織なら、賢吾がノープランだったことぐらい見抜いていたのではないでしょうか。それどころか、賢吾がしっかり考えてくれていることに感動していました。それだけ、レス解消は詩織にとって大きな意味を持っていたのでしょうね。一方、賢吾はどうしようもないですね。もう沙耶と連絡を取るべきではありません。沙耶には母がいるわけですし、放っておくべきだったと思います。

フウフヤメマスカ?の64話感想

賢吾のやらかしてしまった感がハンパないです。賢吾が優先すべきは、連ではなく詩織です。であるなら、連のことには関わらないようにすべきだったでしょう。沙耶の足が不自由とはいえ、沙耶には母がいるのですから。優柔不断さが情けないですね。蓮の買い物に時間かかってしまったところもヤバいのではないでしょうか。メッセージの内容的に、詩織が旅行代理店まで赴いている可能性は高いと思います。そうなると、賢吾が旅行代理店へ行っていないことがバレてしまうわけで。まさに絶体絶命の危機に直面しているようで、ドキドキします。

フウフヤメマスカ?の65話感想

賢吾は情けないですね。詩織は賢吾にすぐ違和感を覚えていました。それだけ賢吾は普段、こういった言い訳をしない人なんでしょう。いつもしないことをしたら、怪しまれるのも当然と言えます。そんなこともわからないのかとガッカリしました。詩織は賢吾が沙耶と会っているだろうと考えました。しかし、確たる証拠はありません。どのように賢吾を問い詰めるつもりなのか、注目したいです。

フウフヤメマスカ?の66話感想

賢吾はピエロ過ぎました。詩織を騙そうと一生懸命になっている姿が滑稽すぎるとでもいいましょうか。それがあまりにも酷すぎて、もうこれ以上嘘を重ねないでって目を覆いたくなりました。嘘をつくならつくで、もうちょっと下調べをして欲しいですね。気がかりなのは、この嘘がどのような事態に進展するかです。すでに賢吾の信用度はマイナスなため、何を言ったとしても逆効果にしかならないでしょう。詩織がどのような判断を下すのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の67話感想

賢吾の行動が悪手過ぎました。詩織は賢吾の行動に不信感を覚えていましたけど、その通りだと思います。下手な考え休みに似たりっていう言葉がありますけど、さっさと謝るべきだったなって思います。そういう経緯も手伝って、賢吾が言い訳しているシーンは見ていられませんでした。何を言っても墓穴を掘っているようにしか感じられなかったので。詩織がどのように決着をつけるのか、注目したいです。

フウフヤメマスカ?の68話感想

詩織が怒るのももっともだと思いました。蓮が何を言おうとも、無視すべきだったんです。たとえ蓮がトラウマを抱えたとしても、その責任は賢吾にはありません。実の父親と、そんな男と子供を作ってしまった沙耶にあるんです。そのことをしっかり理解し、行動すべきだったと思いました。一方で、沙耶の不倫相手である蓮司の行動が気になりました。賢吾を気にしているのかと思ったら、妻の詩織をチェックしている模様。一体何を企んでいるのか、注目したいです。

フウフヤメマスカ?の69話感想

賢吾は謝り足りないように思います。賢吾は一度ならず二度までも詩織を裏切りました。詩織が賢吾

に不信感を抱くのは当然であり、簡単に許せるはずありません。もう少し詩織の気持ちに寄り添って欲しいって感じました。一方、佐久野の行動が気になりました。あの画像をネタに、どんなことを賢吾に要求するつもりなのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の70話感想

佐久野が画像をどう処理するか、気になりました。画像の内容的に、以前ファミレスで出していたとしても揉めたことは間違いないでしょう。とはいえ、修復可能な程度のトラブルで済んだように思えます。しかし、もし今詩織がこの画像を見たらどうなるでしょうか。賢吾が何を言っても信じてもらえず、修復不可能なレベルに達すると思います。この画像の扱い方によっては、賢吾と詩織の関係を終わらせることができるかもしれません。幸いなことに、佐久野は賢吾と詩織の関係がそこまで悪化しているとは知らないようです。だからこそ、佐久野の今後の行動に注目したいと思います。

フウフヤメマスカ?の71話感想

賢吾と詩織のやり取りについてですが、これはこれで良かったのではないかと思います。恐らく賢吾が何を言っても、詩織は厳しく接していたでしょう。しかしながら、賢吾が詩織を気遣おうとする姿勢は伝わったと思います。また、賢吾に対して厳しい言葉を投げかけたことは、詩織にとってストレスの発散になったのではないでしょうか。いわばガス抜きになったと言えるかもしれません。そういったことが重なって、詩織は賢吾と一緒に旅行へ出掛ける気になったんだと思うんです。賢吾と詩織の関係はまだ不仲のままですが、改善の兆しが見えてきていると感じました。

フウフヤメマスカ?の72話感想

今回の旅行は正解だったと言えそうですね。賢吾が関係改善のために頑張っている姿勢が、詩織にもきちんと伝わったように感じました。口先だけでなく、行動でもその思いを示すことができたと言えるでしょう。そのおかげで、詩織の中にあったわだかまりも少しずつ解けたように思います。今回の旅行をきっかけに、二人が以前のような関係に戻れそうで安心しました。一方で、最後にかかってきた電話の着信が気になります。もし対応を誤れば、今回の旅行が台無しになることは間違いありません。毅然とした態度で対応することを切に望みます。

フウフヤメマスカ?の73話感想

賢吾の対応はやや甘かったように感じました。相手が子供であったとしても、ちゃんと話すべきだったと思います。今回の応対の仕方だと、時間に余裕がある時なら遊んでもらえるんだと蓮に受け取られてしまっても不思議ではありません。その意味でも、今後は会えないことや電話も控えてほしいことを、はっきり伝える必要があったように思います。そこまでしておけば、詩織のモヤモヤも大きくならなかったのではないでしょうか。もう少し踏み込んだ対応が求められる場面だったのではないかと感じました。

フウフヤメマスカ?の74話感想

詩織は本当にすごいと思いました。これまでの経緯を考えれば、詩織が怒るのも当然です。苛立ちをぶつけてしまうのも無理はありません。それでも冷静になって自分を見つめ直し、やり過ぎたと気づけたのは立派だと感じました。おそらく詩織が向かった先は賢吾のもとで、きちんと謝罪しようとしているのではないでしょうか。関係修復に向けて、すぐに行動へ移せるところに彼女の強さが表れているように思います。

フウフヤメマスカ?の75話感想

賢吾の言動には、さすがに呆れてしまいました。これまで賢吾なりに、詩織との関係改善に努めてきたのは事実だと思います。そう思って頑張っても詩織は不機嫌なままなのですから、疲れを感じることもあるでしょう。しかし、その原因は賢吾の不倫疑惑によるものなんです。そのことを忘れているので

はないでしょうか。全く反省していないからこそ、このような気持ちになるんだろうなって感じました。一方で、賢吾がこの気持ちを実際に口にするのかどうかも気になります。もし言葉にしてしまえば、夫婦関係が元に戻る可能性は極めて低いでしょう。次に賢吾が何を口にするのか、注目したいところです。

フウフヤメマスカ?の76話感想

二人の関係が完全に修復されるまでには、まだ時間がかかりそうだと感じました。夜の営みに関しては、今回のすれ違いが結果的に良い方向へ働いたように思えます。もし賢吾が強く求めていたなら、状況はここまで穏やかには進まなかったでしょうから。こうして関係はうまくいきかけていたにもかかわらず、子どもが無邪気にはしゃぐ姿を目にしたことで、詩織の気持ちは再び沈んでしまいます。子どもに対する受け止め方には、二人の間で大きな隔たりがあるように感じられました。この問題を根本から解決しない限り、二人の関係が本当の意味で円満になるのは難しい。そう思わせる展開でした。

フウフヤメマスカ?の77話感想

賢吾のやってしまった感がハンパないです。詩織の気持ちも落ち着き、旅行の目的である関係修復も達成できたかのように思えました。それだけに、あの一瞬の行動が与えた影響はかなり大きいです。仲直り出来かけていただけに、残念過ぎました。詩織の問いかけに対し、賢吾がどのような対応をするのか気になります。詩織の様子から、賢吾を試そうとしているようには思えません。でもここは中途半端なごまかしではなく、きちんと言葉で向き合うことが求められる場面といえるのではないでしょうか。賢吾がどのような言葉を選ぶのか、注目したいです。

フウフヤメマスカ?の78話感想

本当に、何がきっかけになるか分からないものですね。陶芸教室での出来事は、むしろ詩織の機嫌を損なうものだと思っていました。それだけに、この展開は予想外でした。賢吾が戸惑うのも無理はありませんし、あの温度差は自然な反応だと思います。一方で、二人の気持ちに差があると感じました。詩織は恋愛としての想いを抱いている一方で、賢吾はどこか家族的な情として受け止めているように見えます。この差は今すぐ問題になるわけではなくても、関係が進むほどに無視できなくなることは間違いないでしょう。その時に二人がどのような決断を示すのか、気になりました。

フウフヤメマスカ?の79話感想

山本の気遣いには、思わず心が和みました。詩織自身は立場上、率直に気持ちを伝えることが難しい状況にあるため、山本はあえてあのような言い方を選んだのだと思われます。残念ながら、その思いが佐久野に十分伝わっている様子はありませんでしたが、それでも詩織を気遣う姿勢が印象的でした。一方で、沙耶と賢吾の温度差も気になるところです。賢吾は沙耶に連絡を取るにあたって、さまざまな葛藤を抱えていたと考えられます。しかし、沙耶の様子からはそうした配慮があまり感じられず、対照的な印象を受けました。このすれ違いが今後どのように影響していくのか、賢吾がどのような反応を示すのかに注目したいです。

フウフヤメマスカ?の80話感想

沙耶の立ち回りには、どこか底知れない怖さを感じました。もし最初から家に上がってほしいと真っ直ぐ誘っていたなら、賢吾も警戒して断っていた可能性が高かったでしょう。しかし沙耶は、電話越しの反応から賢吾の戸惑いや警戒心を察し、あえて段階を踏みながら自然な流れで家へ招き入れたように見えました。しかも、それを計算ずくで行っているというより、無意識に近い形でやっているように感じられる点が、より不気味さを際立たせています。相手の心理へ入り込むことに長けているからこそ、賢吾も気づかないうちに流されかけているように思えました。一方、賢吾はここが正念場だと感じました。沙耶は賢吾を誘っているように見えます。もしここで賢吾が流されてしまえば、詩織との関係は取り返しのつかないものになるかもしれません。だからこそ、賢吾が踏みとどまれるのかどうか、今後の展開に注目したいです。

フウフヤメマスカ?の81話感想

賢吾はかなり危うい状況だと感じました。思春期の男子高校生ならまだしも、賢吾はすでに大人であり、しかも既婚者です。それにもかかわらず、沙耶の誘惑にここまで簡単に流されかけてしまうのは、正直かなり情けなく見えてしまいました。特に詩織との関係がようやく落ち着き始めていたタイミングだからこそ、なおさら危うさを覚えます。ここで一線を越えてしまえば、取り返しのつかない事態になっていたでしょうし、もう少ししっかりして欲しいですね。一方で、檜山の行動が気にかかりました。これまでの流れから考えれば、詩織が賢吾の妻であることは把握しているはずです。それにもかかわらず、わざわざ風間と一緒に現れたということは、単なる挨拶以上の意図があるようにも思えました。檜山が何を考え、どのように動こうとしているのか、今後の展開に注目したいです。

フウフヤメマスカ?の82話感想

詩織の想像力には、思わず感心させられました。本人は昼ドラみたいな展開なんてあるわけがないと否定していましたが、実際にはその予想こそが真実に近かったというのが何とも面白いところです。この絶妙なすれ違いがコミカルでもあり、同時に詩織の勘の鋭さも感じさせられました。その一方で、気になるのは賢吾の心境です。自分が詩織に対して性的な興味を抱けていないことを、はっきり自覚してしまいました。こうした感情は、理屈だけでどうにかできるものではありません。頭で理解していても、気持ちが追いつかなければ簡単には解決できないだけに、賢吾が今後どのような行動を取るのか非常に気になります。

フウフヤメマスカ?の83話感想

賢吾の悩みの原因を知っているこちらとしては、なんとも複雑な気持ちになりました。詩織は、賢吾のちょっとした変化にもすぐ気づくほど彼を気にかけていますし、本当に大切に想っていることが伝わってきます。だからこそ、賢吾が詩織を女性として見られないという悩みを抱えているのは、切ないものを感じました。もちろん、理屈でどうにかできるものではないでしょう。頭では理解していても、気持ちが追いつかないこともあると思います。それでも、賢吾を心から支えようとしている詩織の姿を見ると、どうしても不憫に感じてしまいました。一方で、気になるのは賢吾の両親です。賢吾に理由を尋ねられた際の反応を見る限り、単なる思いつきには思えません。何か別の目的や考えがあることは間違いなく、その真意が非常に気になりました。

フウフヤメマスカ?の84話感想

賢吾の両親がなかなか話を切り出せなかった理由がよくわかりました。父親の癌だったというのは、あまりにも重大な話です。家族にとって大きな問題であり、軽々しく口にできる内容ではありませんから。手術を受けることで完治の可能性はあるものの、必ず成功するとは限りません。たとえ予定通り手術が終わったとしても、後遺症が残ったり、これまでと同じような生活を送れなくなったりする可能性もあります。両親の年齢を考えれば、賢吾もこうした事態を現実のものとして受け止める心の準備はできていなかったのでしょう。突然知らされた重い現実に動揺し、思わず涙ぐんでしまったのも無理はないと感じました。このことが賢吾の今後の生き方にどのような影響を与えるのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の85話感想

賢吾にとって、あまりにも切実な問題だと感じました。父親は治療によって完治の見込みがあると話していましたが、確実とは言い切れません。癌には再発や転移の可能性もあり、賢吾は父親に残された時間が決して多くないかもしれないと感じ取ったのではないでしょうか。これまで賢吾は子どもを持つことについて深く考えてきませんでした。だからこそ、今回の告白は賢吾により強い衝撃を与えたのではないでしょうか。賢吾が今後どのように詩織と向き合っていくのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の86話感想

何気に、今回の賢吾はファインプレーだったように思います。賢吾が詩織の様子に違和感を覚え、自然に声を掛けたことで、詩織は自分の気持ちを整理することができました。おそらく賢吾自身は、そこまで深く考えて行動したわけではないのでしょう。しかし、その何気ない気遣いは、詩織にとって大きな支えになったのではないでしょうか。実際、詩織はその後、山本たちと話し合いの場を設けようと決意していました。前に進むきっかけを与えたという意味では、賢吾のファインプレーだったように思います。一方で気になるのは、佐久野と山本の反応です。いきなり営業へ転向するように言われても、納得できないのではないでしょうか。佐久野は過去に部署異動を断った経緯がありますし、山本も妊娠中という状況です。二人ともそれぞれ事情を抱えているだけに、会社の都合だけで受け入れられる話ではないでしょう。詩織からの打診にどのような返事をするのか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の87話感想

佐久野の行動力に驚かされました。普通であれば、このような話を受けた際には会社の指示に従い、営業職への転向を検討する人が多いでしょう。しかし佐久野は、ただ受け身になるのではなく、自ら対抗策を考えて行動に移しました。労働基準監督署への相談という発想もそうですが、それを口にするだけで終わらせず、すぐに稲森へ訴えた行動力は見事だったと思います。一方で、詩織が気になります。以前、詩織は檜山の名前が蓮司であることを気にしていました。そして、沙耶の子どもである蓮の名前は、檜山から取られたのではないかと考えていたのです。もし檜山の傍にいる女性が沙耶だと気付いたとしたらどうでしょうか。詩織が抱いていた疑念が一気に現実味を帯びることになります。果たして詩織は、その女性が沙耶だと気付くのかどうか注目したいです。

フウフヤメマスカ?の88話感想

檜山の行動には、強い違和感を覚えます。本来であれば、檜山は事を荒立てたくない立場のはずでした。何しろ、沙耶と不倫関係にあっただけでなく、蓮という子供までいます。既婚者である檜山からすれば、その事実が表沙汰になることは何としても避けたいはずですから。それにもかかわらず、今回の檜山の行動からは、そうした危機感がまるで感じられません。むしろ、問題が大きくなる可能性を承知のうえで動いているようにも見えます。だからこそ、檜山はどのような思惑でこのような行動を取ったのか、その真意が気になりました。

フウフヤメマスカ?の89話感想

詩織が、賢吾と佐久野の関係を誤解しそうになっていて思わず笑ってしまいました。今回の問題は非常にセンシティブな内容であり、気軽に他人へ相談できるようなものではありません。だからこそ、賢吾が相談した相手は佐久野だったという話を聞けば、詩織が驚くのも無理はないでしょう。困惑する詩織の気持ちには、思わず共感してしまいました。もっとも、実際には賢吾が相談したわけではなく、佐久野がその場を取り繕うために嘘をついただけなのですが。この何気ない勘違いが、今後の詩織にどのような影響を与えるのか気になります。

フウフヤメマスカ?の90話感想

賢吾は少し動揺しすぎたように感じました。もちろん、その気持ちは理解できます。元カノが偶然にも妻と顔を合わせたとなれば、冷静ではいられないでしょう。とはいえ、賢吾は実際に不倫をしていたわけではありません。あまりにも取り乱した態度を見せてしまうと、かえって詩織に余計な疑念を抱かせてしまうのではないでしょうか。もう少し落ち着いて対応して欲しかったです。一方、沙耶の動向が気になります。今日あった女性が賢吾の妻だったことを知りました。そのことが沙耶にどのような影響を与えることになるのか、注目したいです。

フウフヤメマスカ?の91話感想

賢吾がやらかしてしまいました。これまでも何度か失敗を重ねてきた賢吾ですが、今回の件は致命的に思えます。詩織がどのような反応をするのか気にかかるところですけど、恐らく反発はしないんじゃないでしょうか。この人に何を言っても無駄だと感じ、また、興味自体が失われてしまうように感じます。せっかく少しずつ良くなってきていた夫婦関係が、一気に崩れていく。そんなイメージが浮かびました。

フウフヤメマスカ?の92話感想

今回に限っては、佐久野の言う通りだと感じました。不妊治療をしている人に対して、こういう話はタブーなんですよね。詩織が気を悪くするだけでなく、そのストレスが不妊治療に悪影響を及ぼすわけで。山本は相談する相手を選んだほうが良いですね。

フウフヤメマスカ?の93話感想

佐久野の発言は意外でした。特に印象的だったのは、山本へのアドバイスです。たしかに佐久野の言う通りなんですよね。ただ、その言葉を佐久野が言うかというギャップが凄くて驚かされました。

フウフヤメマスカ?の94話感想

沙耶が何を仕掛けてくるのか不気味です。別件で話があると言ってくるあたり、何か企んでいることは間違いありません。それが一体どういう方向性のものなのか気になりました。

フウフヤメマスカ?の95話感想

賢吾が無神経なのは、父親の遺伝かと感じられる展開でした。顔を見るたびに、子供を作れっていうのはどうかと思いますね。この前も言ったのなら、当分その話題は口にするなと憤りを感じる程でした。まあ、父親が普通の状態ならば、そのように返すことも出来るでしょう。しかし、今はそのような状況ではありません。それどころか、父親を安心させるためとはいえ、賢吾も心無い発言をしています。この父子には、デリカシーというものが足らな過ぎるって感じました。

フウフヤメマスカ?の96話感想

賢吾の無神経さが気になりました。実の親子だからこそ言えることもあるのでしょうが、これはちょっと酷すぎます。不妊治療のことを話すのもどうかと思われましたし、もう少しデリカシーを考えて欲しいものだなって感じました。

フウフヤメマスカ?の97話感想

非常に不味い展開だと感じました。何しろ、賢吾は詩織の気持ちに気づいていません。それどころか、賢吾は自分が妊活に理解のある男とも考えているのです。そんな賢吾が妊活について話をしたら、取り返しのつかない事態を引き起こしてしまうのではないでしょうか。

フウフヤメマスカ?の98話感想

なかなか難しい問題ですね。というのも、どちらか一方が悪いといった単純な問題ではないからです。一見すると賢吾が酷いようにも感じますけど、長く夫婦関係を続けていると賢吾のように考えてしまうのも自然なことなんですよね。二人は性に対する相性が悪かったんだろうなって感じました。

フウフヤメマスカ?の99話感想

詩織の言葉は意外でした。ここまで夫に歩み寄ってくれる奥さんって本当に少ないと思います。そん

な詩織を見て賢吾も思うところはあったようですけど、これを機に猛省して欲しいですね。

フウフヤメマスカ?の100話感想

賢吾はちょっと情けなかったですね。仮に賢吾が小学生ぐらいの子供であったなら、このように言いたくなる気持ちもわかります。でも、結婚までしている大人が言う言葉ではありませんね。もう少ししっかりして欲しいと痛感させられました。

フウフヤメマスカ?の101話感想

手術が成功して、本当によかったです。ガンである以上、転移などの不安は残るでしょう。それでも一先ず安心できて何よりでした。そして、賢吾の両親の、互いを大切にしているという姿勢は詩織に良い影響を与えたように思います。いつか詩織たちも、こういう家庭を築けるといいですね。

フウフヤメマスカ?の102話感想

ちょっと賢吾は動揺しすぎです。ここまで動揺されると、詩織も色々考えてしまうのではないでしょうか。賢吾と沙耶の間には何もないわけですけど、詩織にはそれが確認できません。本当は不倫しているのに、二人で口裏を合わせているだけとも受け取れるのですから。咄嗟のことだったので仕方ない部分もあるとは思います。それでも、賢吾には自分の反応が詩織にどう映るのかまで気を回して欲しかったですね。

フウフヤメマスカ?の103話感想

想定外の展開になって驚いています。沙耶としては色々思うところはあるのかもしれませんが、今回はそれを表に出さないとばかり思っていました。何しろ、生活がかかっているわけです。沙耶一人ならともかく蓮もいるわけですし、本当に仕事を得たいために連絡したのかと思っていました。しかし、実際は仕事に関することどころかプライベートに踏み込み、詩織に喧嘩を売るような言葉を口にしています。一体何を目的に、どこを話し合いの終着点と考えて話をしているのか気になりました。

フウフヤメマスカ?の104話感想

沙耶の考え方は、どこかズレているように思いました。どんな事情があったとしても、不倫をした側が悪いんです。それだけ、法的にいうと妻の立場というものは守られていますし、不倫というものは風聞の悪いもの。そういったことをあまり理解してなさそうなんですよね。でなければ、自分の子供が不倫の末に出来たなんてことを、わざわざ口にはしないでしょうから。

フウフヤメマスカ?の105話感想

賢吾が気が気でなくなる気持ちには、共感してしまいました。何しろ、元カノと妻が会ったわけです。何かあったに違いありません。ところが、詩織の口から出たのは、どうにも要領を得ない話でした。詩織が嘘を言っているようには見えませんが、だからといって沙耶がわざわざ家庭事情を話す意味もわかりません。当分賢吾は悩むことになるでしょうね。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス